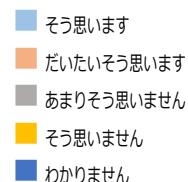


令和7年度 学校アンケート結果と改善の方向について

岐阜市立島小学校

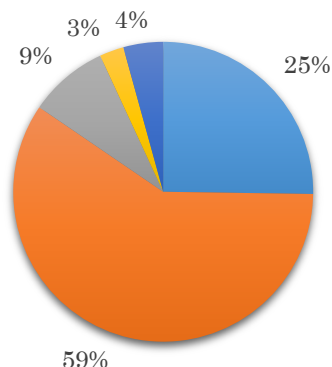
学校アンケートへのご回答をありがとうございました。長子の保護者の皆様より全部で 446 件の回答を頂きました。

取り急ぎアンケート結果と現段階での改善点についてご報告をさせていただきます。なお、グラフ横欄には自由記述まとめを引用させていただき分析・考察した内容を書いています。現段階では、全てのご意見に十分にお応えできていない点もありますが、ご了承いただきますようお願いいたします。



1 お子さんは、学校生活を楽しんでいる。	グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向
	<p>「毎日学校へ行くのが楽しいようで、家庭でも学校での出来事をよく話してくれます」との記述のように、本年度は多くのご家庭から「楽しく通っている」との肯定的な声をいただきました。「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合は約 89%と非常に高く、多くの児童が安心して学校生活を送れていることがうかがえます。一方で、登校班での関わりや校内でのトラブルに対する不安の声も寄せられました。今後は、日常的な見守りや指導の充実に加え、児童同士の関係づくりを大切にした活動を進め、不安の軽減に努めてまいります。次年度も、どの子どもも「学校で学ぶことが楽しい」と家庭で話が弾む学校づくりを目指してまいります。</p>
2 お子さんは、学校の授業が分かりやすいと感じ、楽しみながら進んで参加している	グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向
	<p>肯定的な回答は 75.2%（昨年度 72.4%）となり、2.8 ポイントの改善が見られました。「授業がわかる」「楽しんでいる」と感じる児童が増え、「勉強が楽しい」「子どもが初めて、学校が楽しい、勉強が楽しいと思えました」といったうれしい記述も寄せられています。こうした声を励みに、今後も分かりやすく意欲を高める授業づくりに努めてまいります。一方で、授業数や時間割のこと、教員による指導の違いについてのご指摘もありました。これらの課題については、校内での共通理解や連携を一層深め、より安定した学習環境づくりに取り組んでまいります。</p>
3 学校は、地域や学校運営協議会、PTAと協力してよりよい学校運営をしている。	グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向
	<p>地域や PTA との連携について、肯定的な回答は 74.5%（昨年度 70.5%）となり、4 ポイントの改善が見られました。特に「だいたいそう思う」が 55.2%と最も多く、学校と地域が協力して取り組んでいる様子が保護者の皆様に伝わっているものと受け止めています。評価の大きな向上から、地域や PTA との連携がより前向きに捉えられるようになっていと考えられます。一方で、PTA 活動の見直しや役割の再検討を求めるとの意見、登校班や転校生の情報共有など地域の方との連携に関する課題も挙げられました。今後は、PTA とも協議しながら、保護者の負担軽減と実際に子供や保護者にとって有益な活動の両立を図りながら、より連携を図ることに努めてまいります。</p>

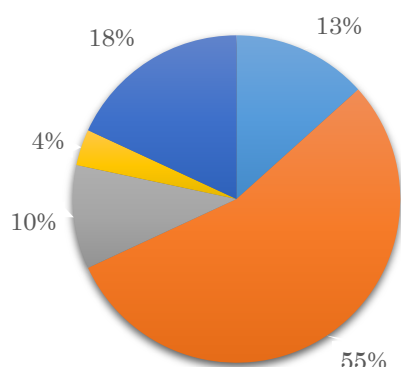
4 学校は教育方針や活動の様子等の情報を、スマート連絡帳やホームページ等で十分に伝えている。



グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向

情報発信や連絡体制については、80.0～84.5%の保護者の方から肯定的な評価をいただき、令和6年度より3.1ポイントの改善が見られました。スマート連絡帳やホームページの活用が一定の評価につながっているものと受け止めています。一方で、「ホームページに記事が掲載されても気づきにくいので、学年ごとに知らせてほしい」とのご意見があり、情報を確実に伝えることに課題があることも分かりました。また、連絡手段としてSNSの活用や電話の通話品質改善を望む声も寄せられています。今後は、確実に情報が届くような連絡体制の整備に取り組んでまいります。

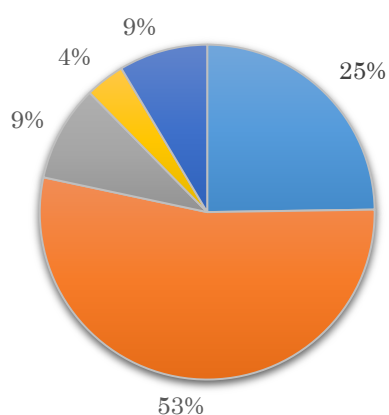
5 学校は、いじめ防止に積極的に取り組んでいる。



グラフの分析と関連するご意見、今後の方向

本項目は6年度から大きく改善が見られ、肯定的な回答は68.1%（昨年度63.1%）と、5.0ポイントの増加となりました。これまでの取組が一定の評価につながっているものと受け止めています。一方で、記述からは「対応の丁寧さ」などの面で、さらに改善が求められていることも分かりました。否定的な回答は13.1%で、からかいや靴隠し、暴言・暴力に関する事例が挙げられ、迅速な対応や見守りの強化を望む声が多く寄せられました。その中で、日頃の見守りに感謝するご意見もいただいています。今後は、指導・対応の充実に加え、取り組みの見える化を強化し、学校の様子がより伝わるよう努めてまいります。

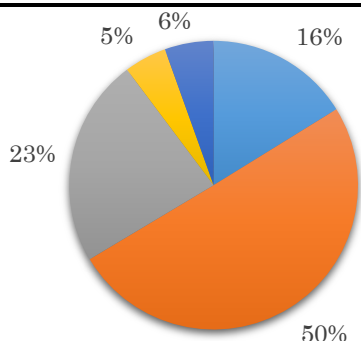
6 学校は、児童・保護者のご相談に親身になって応えている。



グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向

肯定的なご回答は78.3%（昨年度74.8%）となり、3.5ポイントの増加が見られ、概ね良好な評価をいただきました。特に、担任を中心とした丁寧な対応について評価がいただだけ、「悩んでいることにもすぐに対応していただき感謝しています」など、丁寧で迅速な対応への感謝の声が複数寄せられました。一方で、連絡が遅い場合があることや、校内での情報共有・連携が十分でないのご意見も見られました。不登校支援については「寄り添ってもらっている」との評価をいただいています。今後は、引き続き迅速で丁寧な対応を大切にするとともに、校内連携を一層強化し、安心して相談できる体制づくりに努めてまいります。

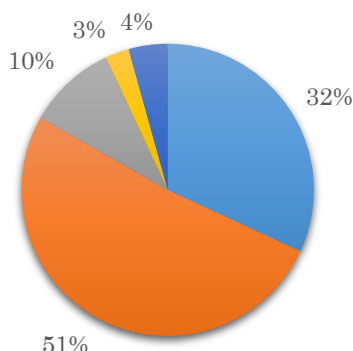
7 お子さんは、目標や夢をもって生活している。



グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向

肯定的なご回答は66.4%（昨年度62.6%）となり、3.8ポイントの増加が見られ、おおむね良好な結果と受け止めています。しかし肯定的な回答は6割台にとどまっており、今後さらに高めていく余地があると考えられます。こうした状況を踏まえ、学校においては、児童それぞれの個性に応じ得意なことを伸ばす指導や、目標をもってそれに向かって努力する充実感が得られる体験活動を大切にして教育活動を進めてまいります。

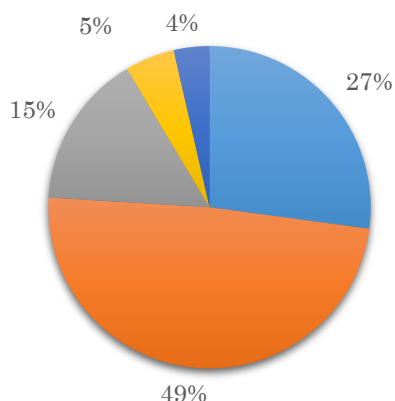
8 お子さんは、自分にはよいところがあると思っている。



グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向

肯定的なご回答は83.2%（昨年度 82.1%）となり、1.1ポイントの増加が見られ、たいへん高い水準を維持しています。子ども一人一人の良さを認め、自己肯定感を大切にする取組が、着実に成果を上げているものと受け止めています。日々の学習や学校生活の中で達成感や安心感を味わえるようにしてきたことが、前向きな評価につながっていると考えられます。今後も、児童の思いや頑張りに丁寧に関わり添いながら、自信をもって学校生活を送ることができるよう、指導や支援の充実に努めてまいります。

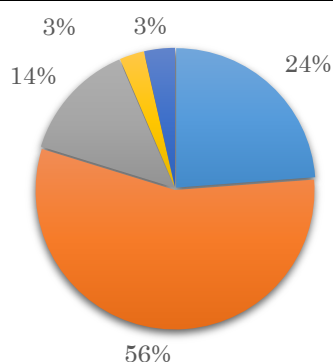
9 お子さんは、ご家族やお友だち、地域の方にあいさつができています。



グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向

肯定的なご回答は76.0%（昨年度 78.7%）となり、2.7ポイントの減少が見られ、やや課題がうかがえる結果となりました。特に「あいさつの習慣づけ」については、家庭と学校が協働して取り組んでいく必要性が改めて明らかになりました。「登下校であいさつを返す子が少なく、少し切なくなります」との声にあるように、登下校時のあいさつに関するご指摘が複数寄せられています。また、挨拶運動についても、より実効性のある取組を求める声がありました。今後は、日常的な声かけや場面に応じた指導を工夫するとともに、ご家庭とも連携しながら、あいさつの大切さが自然と身に付く取組を進めてまいります。

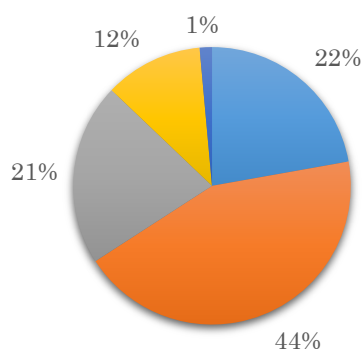
10 お子さんは、相手の気持ちを考えたあたたかい言葉遣いができています。



グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向

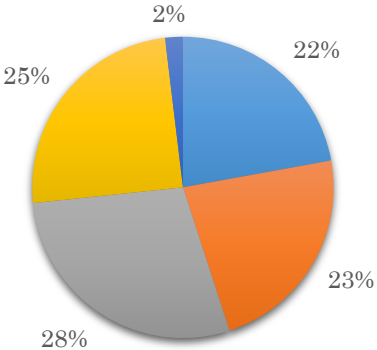
肯定的なご回答は79.8%（昨年度 80.4%）と、0.6ポイントの小幅な減少でほぼ同水準を維持していますが、言葉遣いについては引き続き継続的な働きかけが必要であることが分かりました。『幸せづくりプロジェクト』やふわふわ言葉の指導など引き続き進めていきたいと思います。中には職員の言葉遣いについてもご指摘がありましたので、教職員自身が模範となる言葉遣いを改めて意識し、学校全体で温かく安心できる人間関係づくりを進めてまいります。

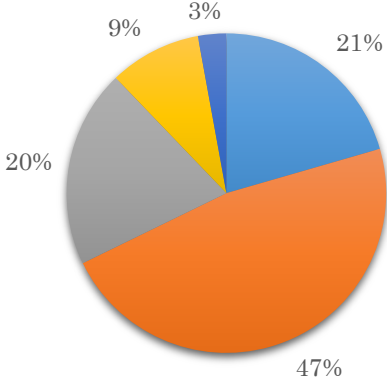
11 お子さんは、家庭で学習する習慣が身についている。

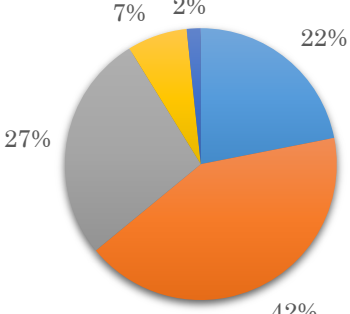


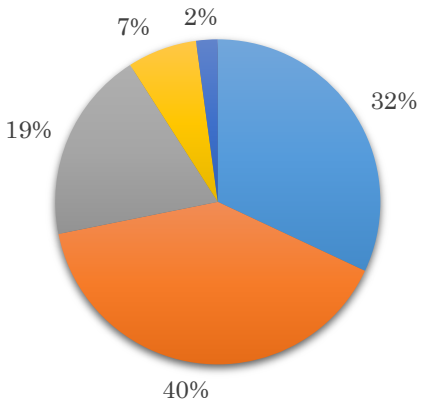
学校でもグラフの分析と関連する自由記述、今後の方向

肯定的なご回答は65.9%（昨年度 63.2%）となり、2.7ポイントの増加が見られました。一方で、否定的な回答が3割を超えており、家庭学習の定着については引き続き課題があることが分かりました。学力定着の視点から引き続き指導をしていきます。自主的に学習に取り組んでいるといううれしい声がある一方、「宿題は先生の声がないと意欲がわきにくい」といったご意見も寄せられています。今後は、家庭と学校が連携し、継続的に家庭学習に取り組めるよう支援を進めてまいります。

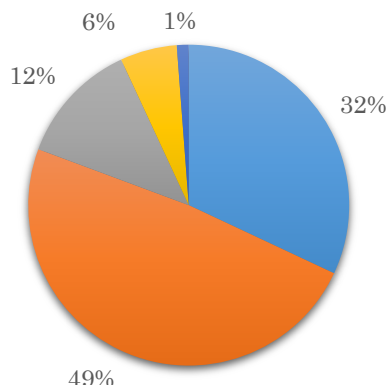
1 2 お子さんは、読書を楽しんでいる。	
	グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向
	<p>肯定的なご回答は 45.0%（昨年度 45.8%）と昨年度とほぼ同水準ではあるものの、全体としては依然として低いです。「あまり本も読まず国語の教科書を読む機会も減ってしまいました」といったご意見に見られるように、読書量が減少したとの声が寄せられました。学校生活の中で子供達が図書館で熱心に本を読む姿があり、読書に興味がある様子がうかがわれます。今後は、学校での読書の時間や読書環境の工夫に加え、家庭とも連携しながら、継続的に本に親しむ機会を増やし、読書の定着に向けた取組を進めてまいります。</p>

1 3 お子さんは、ルールや情報モラルを守りながら、積極的にタブレットを使って学習している。	
	グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向
	<p>肯定的なご回答は 67.8%（昨年度 68.4%）と、7 割には届かず、課題が残る結果となりました。学校では、これからの時代を見据え、情報教育の重要性を踏まえた教育活動を進めていますが、一方で、不安や負担を感じているご家庭も多いことが分かりました。端末の重さや充電、家庭での負担、「タブレットへの依存が心配」「不適切な操作が不安」といった懸念も寄せられています。その一方で、時間割の共有など、デジタル活用への期待の声もありました。今後は、情報モラルに関する指導を進めるとともに、新しい時代に生きるため情報活用能力の育成を目指してまいります。</p>

1 4 お子さんは、ご家族の一員として家の手伝いなどを積極的に行っている。	
	グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向
	<p>肯定的なご回答は 64.0%（昨年度 67.5%）となり、昨年度より低下した結果となりました。このことから、生活や学習に関わる習慣づくりについて、引き続き課題があることが明らかになりました。家庭での手伝いを通して、責任感や生活リズムを身に付けることは、児童の自立や学習意欲にもつながります。今後は、学校での指導に加え、ご家庭でも支援していただきますようお願いいたします。</p>

1 5 お子さんは運動や外遊び等、健康な体づくりに努めている。	
	グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向
	<p>全体として 7 割程度の肯定的なご意見をいただき、日々の活動が良好に受け止められていることがうかがわれます。子供たちは体を動かすことが大好きです。特に、休み時間に体を動かす活動を取り入れている点については、「子どもたちが意欲的に体を動かしている」「心身の成長につながっている」といった感謝のお声が寄せられました。大縄跳びの大会では学校全体が大変盛り上がりました。今後とも、子どもたちの健やかな成長のため、様々な活動を取り入れていきたいと思います。</p>

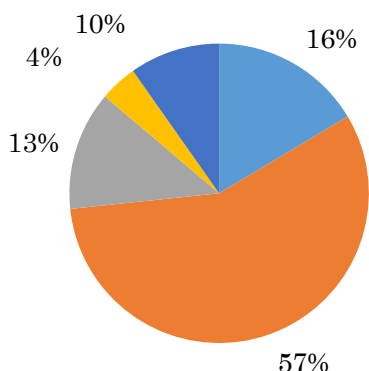
16 お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣を身につけ、規則正しい健康的な生活ができています。



グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向

肯定的なご回答は 80.7%（昨年度 78.9%）となり、1.8 ポイントの増加が見られ、たいへん高い水準となりました。家庭での生活や学習に関する習慣づくりが安定しており、規則正しい生活リズムの中で、日頃から継続した取組が行われている様子がうかがえます。このような成果は、保護者の皆様のご理解とご協力によるものと、心より感謝申し上げます。規則的な生活は、心身の健康や学習への集中力を支える大切な基盤でもあります。今後も、家庭での良好な取組が無理なく続けられるよう、学校からの情報提供や声かけを大切にしながら、家庭と連携した支援を継続し、児童の健やかな成長につながるよう努めてまいります。

17 保護者として、学校の教職員や他の保護者と協力しながら学校活動に協力している。



グラフの分析と関連する自由記述、今後の方向

肯定的なご回答は 73.3%（昨年度 72.8%）となり、0.5 の増加でほぼ同水準を維持しており、全体としてはおおむね良好な結果と受け止めています。一方で、PTA や学校活動について、内容や役割が「分かりやすく伝わっていない」と感じるご家庭もあり、やや課題が残ることが分かりました。特に、PTA 役員の仕事内容が具体的に分かりにくく、参加しづらいとのご意見が寄せられています。学校・保護者・地域がそれぞれの立場で役割を理解し、協力していくことは、子どもたちの安心・安全な学校生活につながる大切な土台です。今後は、活動内容や役割分担をより丁寧に伝える機会を設けるとともに、情報発信の工夫を進め、安心して関われる体制づくりに努めてまいります。

※その他ここに記載しきれない意見もたくさんいただきました。すべてにご回答できずに申し訳ございません。個別について必要でしたら学校までお問い合わせくださいますようお願いいたします。